

3 男女が自立し安心して暮らせるまちづくり

対象事業	現状・課題	意見
<p>・事業番号41 ひとり親家庭への経済的支援／ひとり親家庭への自立支援</p>	<p>・昔に比べると、支援体制は充実しており、様々なメニューがある。(就学援助、ハローワークによる資格取得支援、ファミサポやシルバー人材センターによる家事・育児支援 など)</p> <p>・市報・チラシ・HPなどで広報を行っているが、声を上げられず、情報を得にくい人にどのように伝えるかが課題である。</p>	<p>・他の自治体では、ひとり親家庭を対象にした学習支援を行っているところがあるが、鳥栖市で行ってはどうか。</p> <p>・声を上げられないような人に対して、情報を伝える工夫が必要である。(民生委員や母子保健推進委員の訪問が効果的だと思われるが、最近は、個人情報保護の関係で情報が得にくく、活動困難が困難になっている。また、訪問しても出てくれないケースも増えている。)</p>
<p>・事業番号43 シルバー人材センター事業の声援・拡充</p>	<p>・一人暮らしの高齢者が増えており、病弱な高齢者については、区長・民生委員などが対応している。その一方で、元気な高齢者も多く、経済的な理由で就労する高齢者も多い。</p>	<p>・シルバー人材センターに登録しても、望んでいる仕事にあたらずミスマッチしているケースもあるのではないか。</p>
<p>・事業番号52 学校における性教育を含めた健康教育の実施</p>	<p>・市内中学校では、いのち・性についての講演会を開催している。</p>	<p>・望まない妊娠が児童虐待につながったり、高校生で妊娠をすると退学につながることもある。鳥栖市をはじめ佐賀県全体で中絶率が高い(若い世代のみならず、30～40代もDVなどが原因となって高い)ので、若いころからの教育が大切である。</p>
<p>・事業番号53 乳がんや子宮がん等の各種検診・予防／健康マイレージ制度による健康づくりの推進／更年期等に関する情報提供および相談</p>	<p>・がん検診は概ね無料で行われているが、受診率は目標に達していない。</p>	<p>・受診を面倒に思っている人などにも検診に行ってもらおうような工夫が必要である。(色の付いたハガキ・文書による案内は効果的である。)</p>